

令和7年度学校評価（自己評価）の報告

印西市立小林中学校

1 アンケート結果

(1) 生徒アンケート結果

- ・数字は「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」と肯定的な回答の%
- ・矢印は昨年度の結果との比較、3%以内の増減は「－」のマークで表記

(回収率：80%)

No	評価項目 (%)	R 6	R 7	比較
1	あなたは、学校のめあてや目標を知っていますか。	9 5	9 5	－
2	あなたは、進んで学習に取り組んでいますか。	8 4	7 8	↓
3	授業はわかりやすいですか。	9 4	9 3	－
4	あなたは、家庭で宿題や課題等、家庭学習に取り組んでいますか。	7 3	7 2	－
5	あなたは、友達を大切にしていますか。	9 9	9 6	－
6	あなたは、自他の命を大切にし、感謝の気持ちを持って生活していますか。	9 8	9 5	－
7	あなたは、健康に気を付けて生活していますか。	8 7	8 0	↓
8	先生方は、あなたの良さや頑張りを認めてくれていますか。	9 2	9 5	－
9	先生方は、いじめがあったとき、よく話を聞いて対応してくれていると思いますか。	8 9	9 6	↑
10	学習や生活で困ったことがあった時、先生方はすぐに話を聞いて対応してくれていると思いますか。	9 3	9 6	－
11	あなたは、事故にあわないように気を付けて生活していますか。	9 9	9 1	↓
12	学校の施設・設備は整っていると思いますか。	7 6	8 2	↑
13	保護者や地域の方々で行う活動は充実していますか。	7 9	7 7	－

＜成果と課題＞

- ほとんどの項目で肯定的な評価となった。
- 学習面では、昨年度と同様の割合になった。項目2「進んで学習に取り組んでいますか」の質問で低くなっている。そのため、各学年で、ワークマスターやプレテスト等の取り組みを確実にし、学習への取り組みがさらに意欲的になるよう工夫していく。また、学習に対し今後とも主体的に取り組む活動ができるよう、学習意欲の喚起とそのための指導方法の工夫・改善を図る。特に、ICT機器の活用をさらに充実させる。
- 生活面では、項目8～10の教師の対応について昨年よりも肯定的評価が高いため、信頼を寄せてくれていると感じる。これに満足することなく個々への支援等の充実を更に図っていききたい。また、項目5・6に関しては、ほとんどの生徒が肯定的評価だったので、道徳や学活でも意識の向上をさらに図っていき、心の成長を促していきたい。しかし、項目7「あなたは、健康に気を付けて生活していますか」と項目11「あなたは事故にあわないように気を付けて生活をしていますか」については昨年度よりもかなり低くなっているため、学業だけでなく健康教育を行い、健康の大切さに理解させていく必要がある。また保健の授業を通して、安心安全な生活を心がける意識を高めていきたい。

(2) 保護者アンケート結果

- ・数字は「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」と肯定的な回答の%
- ・矢印は昨年度の結果との比較、3%以内の増減は「－」のマークで表記

(回収率：75%)

No	評価項目	R 6	R 7	比較
1	あなたは、学校の教育方針や教育目標をご存じですか。	6 7	7 0	－
2	お子さんは、意欲的に学習に取り組んでいると思いますか。	5 5	6 0	↑
3	お子さんは、授業がわかりやすいと言っていますか。	5 1	5 6	↑

4	お子さんは、家庭で宿題や課題等、家庭学習に取り組んでいますか。	5 9	7 0	↑
5	お子さんは、友達を大切にしていると思いますか。	9 7	9 5	—
6	学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。	7 3	8 1	↑
7	お子さんは、健康に気を付けて生活していると思いますか。	7 5	7 5	—
8	学校は、一人ひとりの子供を大切にしたい指導や対応ができていますか。	7 3	7 7	↑
9	学校では、いじめがあったとき、すぐ話を聞いて対応してくれていますか。	6 5	7 2	↑
1 0	学習や生活で困ったことがあった時、先生方はすぐに話を聞いて対応していますか。	7 8	8 1	—
1 1	学校は、子供の事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	8 1	8 2	—
1 2	学校の施設・設備は整っていると思いますか。	6 9	6 7	—
1 3	学校は、市や地域の環境・施設・人材を教育活動に活かしていますか。	6 2	6 5	—

〈成果と課題〉

- 保護者の方からも全体的に肯定的な評価となった。学習面の項目 2～4 において、昨年度よりも良い結果になった。この結果については、ワークマスターやプレテスト等の学校独自の学習活動を行い、学習への取り組みが評価されたり、教師の家庭学習の指導が少しずつ出てきたりしているものとする。また、項目 2～4 については保護者と生徒の肯定的評価の差が大きく、今後の課題となる。広報の面も含め、肯定的評価の向上のために検討を進めていきたい。特に項目 3 については、教師同士の相互授業参観などの研修を更に行い、指導力の向上を図っていく。
- 生活面の項目 9～11 の結果が昨年度よりかなり上がった。これまで以上に、きめ細かな指導、教育相談の充実、アンケートの実施等を通し、家庭と連携しながら、生徒指導の充実に努めていきたい。ただし、「わからない」の回答もあるので、学校だよりなどの通信手段やその内容について検討していく。

2 自己評価から

教員による自己評価を実施した。主な評価は概ね以下のとおりである。

- (1) 学習面においては、学年によって取り組みの差が見られる。学年が上がるにつれ、よい成果が見られる。しかし、学習時間が結果に結びつかない生徒も多いので、取り組み方を見直し、自分に合った学習方法の確立に向けた助言等が求められる。
- (2) 生活面においては、全体的に落ち着いた生活を送ることができている。ただし、一部生徒に落ち着きがなかったり、身の回りの整頓ができなかったり等、課題もある。個別の対応をしながら、全体への対応を効果的に行っていく必要がある。
- (3) 特別支援教育では、個別の教育支援計画及び個別の指導計画をもとに、保護者と合意形成を図りながら進めることができた。また、校外学習や小中連携事業等、交流や活動を行い、生徒の大きな成長が見られた。
- (4) 安全教育については、避難訓練の実施等、安全な生活を啓発してきた。また、年々増えていく自然災害への対応、不審者対応、熱中症のマニュアルの改善を図った。施設の修繕や故障等、市教育委員会と連携して素早く対応できた。施設の老朽化、震災後の施設のゆがみや傾き、エアコンがなかなか設置されず特別教室の夏季使用等が今後も心配である。
- (5) 生徒はコロナ禍での生活が影響しているためか、基礎体力の低下が見られるのが課題である。また、学級閉鎖を 2 度行うなど感染症にかかる生徒も少なくない。感染予防対策にも気を配る必要がある。

3 学校評価委員会議から（2月27日実施）

（1）参加者（学校評価委員3名、校長、教頭）

- ・小林中学校第3代校長
- ・小林住みよいまちづくり会理事
- ・社会福祉協議会小林地区理事（欠席）
- ・平成29年度PTA会長

（2）会議の内容

- ①本年度の本校活動について
- ②3年生の進路状況について
- ③学校評価アンケートについて
- ④意見交換

<主な意見>

- ・生徒と教師の関係がとても良い数字である。先生方のがんばりのおかげだと考える。「情熱を持って、笑顔で、フットワークよく。」良いところをどんどん認めて、だめなところは丁寧に指導し、改善することができている。特に項目8～10の結果が90%以上なのはいい証拠である。更に伸ばして欲しい。
- ・自分に自信をもてるような生徒を育成して欲しい。自分の好きなことがあれば自信がつく。また、そのきっかけ作りも必要である。
- ・地元学として地元の歴史・自然を学んで欲しい。
- ・保護者との関係をよくするために何ができるか。保護者との対応を1つ間違えると大きな問題になるので初期対応を大切にしていけることを続けていって欲しい。
- ・健康や事故の項目があるのがとても良い。引き渡し訓練も小学校でやっているのでも中学校でも行ったらどうか。
- ・小林地区は過去水の事故で2名の生徒をなくしている。水泳の授業で着衣泳を行うなど水の事故に対しても指導も行ったらどうか。
- ・避難所マニュアルの確実な実施ができるようにして欲しい。

【学校運営について】

- ・部活動移行の推移について、学校での現状を伝えた。印西市では全運動部活動が来年8月から土日地域クラブになる。平日は引き続き学校で活動を行う。そのために授業時数の見直しを行う。
- ・保護者のアンケートの中の項目に「わからない」と回答している保護者がいるので、情報伝達などを含めて検討していきたい。
- ・学年の担任制度も見直しを図っていく。
- ・来年度の新入生は少し増え、あと1人増えると3クラスになる。
- ・服装のルールなども更に検討していく。生徒のストレス、健康を優先しながら、儀式などメリハリのある生活を大切に、指導をしていく。
- ・SOSを出すことができた生徒がいる。これからも教育相談の充実を図る。

4 次年度に向けて

本年度の学校評価アンケートの結果及び学校評価委員会議で出された意見を基に、学習指導・生徒指導・特別支援教育・安全・保健・学校行事等の課題を明確にし、次年度に向けて検討・改善していく。